

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	1,283,566	流動負債	174,997
現金及び預金	1,085,350	買掛金	15,686
売掛金	43,751	未払金	53,370
商品	31,302	未払法人税等	28,875
貯蔵品	2,870	未払消費税等	29,810
前払費用	106,139	未払費用	19,347
未収入金	4,614	前受家賃	2,478
仮払金	9,517	預り金	3,418
立替金	300	仮受金	2,011
貸倒引当金	△280	賞与引当金	20,000
固定資産	1,800,410	固定負債	1,454,187
有形固定資産	1,712,878	長期借入金	1,422,970
建物	696,531	預り保証金	31,216
建物附属設備	63,782		
構築物	199,142		
船舶	311		
車両運搬具	853		
什器備品	33,682		
土地	718,575		
		負債合計	1,629,185
無形固定資産	59,430	(純 資 産 の 部)	
借地権	48,830	株主資本	1,454,791
商標権	1,554	資本金	50,000
電話加入権	338	資本剰余金	350,000
ソフトウェア	8,708	その他資本剰余金	350,000
投資その他の資産	28,101	利益剰余金	1,054,791
投資有価証券	4,571	その他利益剰余金	1,054,791
差入保証金	2,151	繰越利益剰余金	1,054,791
保険積立金	21,308		
長期未収入金	103,247		
その他の投資	70		
貸倒引当金	△103,247		
		純資産合計	1,454,791
資産合計	3,083,977	負債・純資産合計	3,083,977

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 …… 移動平均法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 …… 定率法によっております。

平成10年4月1日以降に取得した建物は、定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

② 無形固定資産 …… 定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 …… 一般債権については法定繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権については財務内容評価法に基づき個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金 …… 役員及び従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他計算書類等作成のための基本となる事項

① 「減損会計基準」の採用

「固定資産の減損に係る会計基準」（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号）を適用しております。

② 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額		8,027,374 千円
(2) 担保に供している資産	建 物	565,167 千円
	建物附属設備	51,056 千円
	構 築 物	196,168 千円
	船 舶	311 千円
	什 器 備 品	32,458 千円
	土 地	575,499 千円
(3) 保証債務残高は、他の時代村のテナント預り保証金があります。		
① ㈱登別伊達時代村		717 千円
② ㈱伊勢安土・桃山文化村		2,700 千円
③ ㈱加賀百万石時代村		3,360 千円
(4) 取締役（支配株主）に対する長期金銭債務		978,955 千円

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

3. 損益計算書注記

(1) 1株当たりの当期純利益	11 円 92 銭
-----------------	-----------

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。